

## 結婚相談室

実践女子学園に所縁のある方のご結婚へのお手伝いをいたします。秘密厳守で評判の良い相談室です。

相談日:毎月第2・第4土曜日 10:30 ~ 16:00

★ 10 月第 4 土曜日のみ第 3 土曜日に変更

休室:8 月第 2 土曜日 12 月第 4 土曜日

会場:実践桜会会館(渋谷校舎隣接)

入会資格:学園卒業生および卒業生のご紹介の心身共に

健康な女性・男性

入会金:2 万円と書類代 1 千円

入会時にご用意頂く物

入会されるご本人自筆の履歴書

写真 3 枚 ~ 5 枚(本人のみ、スナップ可)

☆詳細は相談日にお問い合わせください。

連絡先:TEL03-3407-7459 実践桜会

## 実践桜会囲碁教室

開室して丸 3 年となります。卒業生 3 人で運営し、碁盤・碁石ともに生徒の寄贈ではじめました。当初から柳川先生のご指導のもと、はじめ近隣の男性が参加して下さいましたが、昨年卒業生の参加が増え盛況となっています。ところで、卒業生の川村麻紗子さんの囲碁界での活躍が目覚ましく、女性の囲碁人口のすそ野拡大のため「女流アマ勝負美人杯」の創設にも尽力されました。その縁で「ペア碁大会」に参加しました。囲碁に挑戦したい皆様の参加をお待ちしています。



す。(Y.K)

教室開催予定日 4/14,4/28,5/12,5/26,6/9,6/23,7/14,7/28,

8/25,9/8,9/22

会費:一回 1,000 円

教室:実践桜会会館

講師:柳川正興(アマ 6 段)

連絡先:TEL 03-3407-7459 (実践桜会会館)

## 実践桜会会館・貸室のご案内

科会の委員会、サークル活動、クラス会等、多数ご利用いただいております。貸室予約、料金は実践桜会会館にお問い合わせ下さい。

## お元気です！岡村和江名誉教授(昭和 23 年専国卒)

国文科会新年会にご出席された先生は、<好きな文学が続けられ、学生に接して楽しかった事、是非皆さんも好きなことを続けて欲しい>と、いつもの歯切れのよいお声で、歓談なさっておられました。岡村先生、いつまでもお元気で。



前列右から 2 人目に岡村先生 (平成 26 年 1 月 26 日国文科会新年会にて)

## 祝成人の会



第 2 回祝成人の会は 280 名の卒業生が参加しました

## 【編集後記】

●広報部に 4 年、「那与竹」、「なよたけ情報版」どの号を発行する時もやっとの思いで、今回「那与竹」第 77 号も無事に発行出来てほっとしています。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。(YT)

●下田先生の「欧米女子教育視察」が実践の原点と考えると、感慨深い。横浜から、プライトンに至る、その足跡をいつか旅したい。新装なった渋谷校舎は輝いている。そこで学び、研究する、学生が羨ましくなりました。新しい実践に期待します。(ST)

●渋谷に新校舎が誕生！母校があり続けることは卒業生にとって大きな支え。被災された同窓生にとっても同窓会が支えの一つとなりますように。同窓会情報の収集には皆様からのご協力が一番！です。同窓会費が「永久」から「年会費」に変わり、はや十数年。この機にもう一度、お知らせします。(SK)

【表紙の色】日本の伝統色より「撫子色」

## 【寄附者ご芳名】(敬称略)

福島県支部、宮城県支部、鍛島康子、S 37 卒みなな会、篠田俊子、福村和子、福士朝子、嶋野恵子、中岡久恵、吉田和代、浦上淳子、その他寄附 2 件  
\*ご寄附は随時受け付けております。

【お願い】転居・改姓等をされた方および会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号、卒年学科をご確認の上、実践桜会事務局(TEL:03-3407-7459、FAX:03-3499-0835)までご連絡ください。

編集・発行:一般社団法人教育文化振興実践桜会

編集・発行人:浦上淳子

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-40

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

URL:http://www.j-sakura.org

広報部メールアドレス:jiissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

振込口座:東京 00190-0-23848 (転居された場合はご連絡ください)

印刷:凸版印刷

## 会費納入のお願い

年会費 2,000 円の今年度分を、同封の振込用紙でご納入ください。お近くのコンビニまたはゆうちょ銀行か郵便局(窓口、ATM)をご利用下さい。実践桜会事務局でも受け付けております。

## 平成26年度 定時総会のご案内

平成26年度定時総会を下記の要領で開催いたします。ご出席賜りますよう宜しくお願いいたします。

日時:平成26年5月18日(日)午前11時開会

場所:セルリアンタワー東急ホテル

B2F ボールルーム

東京都渋谷区桜丘町26-1

(渋谷駅徒歩5分)

TEL: 03-3476-3000

議案:1.平成25年度事業報告

2.平成25年度決算承認の件

3.公益目的支出計画実施報告書

承認の件

4.監査報告

5.平成26年度事業計画及び予算の件

6.定款改定の件

総会終了後、親睦パーティーを

開催します。

会費:一般会員10,000円

新入会員 9,000円

(会費は当日会場でも受け付けます)

\*総会にご出席の方は実践桜会事務局へ4月

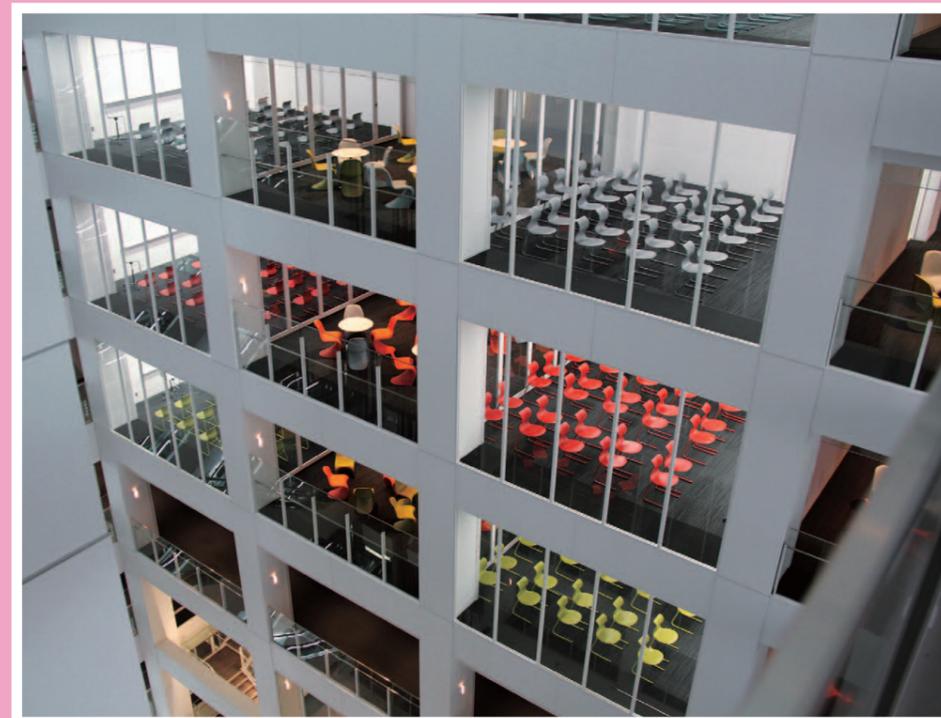
30日(水)迄にお申し込み下さい。皆様のご参加をお待ちいたしております。

<実践桜会事務局>

TEL: 03-3407-7459 FAX: 03-3499-0835

\*ご欠席の方は必ず同封の委任状に会員番号、氏名、住所(変更のある方のみ)、電話番号、卒年学科を明記の上ご返送下さい。

支部での委任状一括送付も受け付けます。



創立 120 周年記念館・アトリウムから見た講義室

Nayotake



巻頭特集  
グラビア

# 新しい 実践女子大学

平成26年2月10日(月)、実践女子学園創立120周年記念館の竣工式が行われました。創立120周年記念館は六本木通りに面し、地下1階地上17階建の潇洒なガラス張りの建物で、免震構造も怠りなく、これからの実践の指針となる新校舎です。

日野校舎と共に下田歌子先生の建学精神である教育、研究、社会貢献を実現する場として、新しい実践スタイルを創造していきます。



9層吹き抜けのアトリウム



1階エントラホールと右奥は向田邦子文庫



アトリウム超しに見える講義室

学祖 下田歌子先生のレリーフ



相武常雄氏(写真)制作によるブロンズ製のレリーフで表面は緑青仕上げ、金・青金・水金の三種類の金箔を貼っています。多用された曲線は、優美さとしなやかさを表します。下田先生の意思を継いで多くの卒業生が世界へとはばたくことを願い、下部には先生の言葉「揺籃を揺がすの手は以て能く天下を動かすことを得べし」とともに世界地図や波を描く。モダンな新校舎との調和にも配慮しています。

相武常雄氏  
日展評議員・日本現代工芸美術協会本会員  
実践女子大学非常勤講師



白と朱のコントラストが映える講義室



376名が収容できる大講義室



図書館(日野との連絡便は一日一便)



カラフルなカフェテリア



スカイラウンジ前の屋上庭園



**竣工式** 午前10時、創立120周年記念館前にて、井原理事長、田島学長、嶋野校長、浦上実践校舎理事長ほかの方々による竣工披露のテープカット。1階プラザにて学祖下田歌子先生のレリーフの除幕式。続いてアトリウムにおいての神事・修祓式と滞りなく行事は進行した。



**祝賀会** 午後零時からは9階のカフェテリアにて、祝賀会が盛大に催された。司会進行は平田由美さん。井原理事長、田島学長のご挨拶につき、日本私立学校振興・共催事業団河田理事長、國學院大學坂口理事長はじめご来賓の方々からのご祝辞。その後、飯田副学長が乾杯を捧げた。「JISSEN」の焼き印を押したペキンダックなどが、この日のために特別に用意された。祝宴は実践女子大学・短期大学部のチアリーディング部ATLASのパフォーマンス、卒業生の小山みつなさんの民謡熱唱などで大いに盛り上がった。



# 実践女子学園 創立120周年に向けて

実践女子学園 理事長  
井原 徹



下田歌子先生が創った本学園は、2019年に「創立120周年」を迎えます。

その記念すべき創立120周年に向けて、ハード面では渋谷キャンパスにおける「創立120周年記念整備事業1期整備計画」を実施しました。この4月から、大学・短期大学部棟(創立120周年記念館と命名)では、文系・社会系大学院、文学部、人間社会学部及び短期大学部の学生約2400人が学び始めました。非常勤を含めて教職員約350人が、日野キャンパスから渋谷キャンパスに移っています。

1期整備計画に引き続き、日野・大坂上キャンパスを「創立120周年記念整備事業2期整備計画」として整備する予定です。文学部及び人間社会学部等が渋谷キャンパスに移った後の、生活科学部のためのハード面の整備・充実がこれにあたります。

また、これらと並行して、短期大学が全て移転した後の、日野・神明キャンパスの再活用計画も立案の緒につきました。現在は基本構想を作成中です。

ソフト面の充実に関しては、この4月から変わったことをお知らせします。

一つには、短期大学の名称を「実践女子大学短期大学部」に変えました。これは短期大学と大学との一層のコラボレーションを図り、一体感をより強くしていくという決意の表れです。ただし、短期大学の独自性や特徴・特色を失わせることなく、この先の一層の充実を図っていく所存です。

二つ目は、当学園の創立者下田歌子先生の業績・思想等の集大成と社会への発信のために、「下田歌子研究所」を本年4月に、学園附置機関として発足させました。湯浅所長(前学長)の下、専任研究員1名、非常勤研究員4名でスタートしています。

三つ目に、生活科学部に四つ目の学科である「現代生活学科」がスタートしました。「自立・メディア・環境」と

いう三つのコンセプトを軸として、自立した新しい生活を構想する学科です。

四つ目に、生活科学部の生活文化学科の生活文化専攻の名称を2014年度入学生より「生活心理専攻」に変えました。心理学の視点から、生活課題を分析し解決する力のある社会人を養成します。

昨年までの動きとしては、人間社会学部に「現代社会学科」を増設し、また、生活科学部の食生活科学科に、短期大学の食物栄養学科を組み入れて「健康栄養専攻」を設置しました。

大学院では、人間社会研究科人間社会専攻修士課程を設置し、また、文学研究科の美術史学専攻に「博士後期課程」を増設しました。

以上をまとめますと、学部・短期大学部は以下のとおりの構成で本年4月からスタートしています。大学は3学部9学科5専攻、短期大学部は2学科です。

■日野キャンパス

生活科学部＝①食生活科学科「管理栄養士専攻」「食物科学専攻」「健康栄養専攻」②生活環境学科③生活文化学科「生活心理専攻」「幼児保育専攻」④現代生活学科

■渋谷キャンパス

文学部＝①国文学科②英文学科③美学美術史学科  
人間社会学部＝①人間社会学科②現代社会学科  
短期大学部＝①日本語コミュニケーション学科②英語コミュニケーション学科

以上のような学部・学科・専攻をもって、日野と渋谷の二つのキャンパスで教育、研究、社会貢献を展開してまいります。下田歌子先生に叱られないよう、創立120周年を立派に迎えるべく、頑張っています。

実践桜会の皆様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。(いはらとおる)

# 「実践桜会の扉」

一般社団法人教育文化振興実践桜会 理事長  
浦上淳子



学祖下田歌子先生は、覚醒していない動乱の時代であって、女性も教育により地位向上、社会進出への道が開けるとの信念と情熱を以って、閉ざされた重い扉をこじ開け、生涯を女性の教育に尽くされました。多くの先人の女性たちの努力により、今、「女性の時代」を迎えようとしています。例えば、50年前と現在を比べれば、女性の社会進出は著しく変化し、殆どの学生は卒業と同時に就職し、男性と肩を並べて働いています。

世界では女性の大統領、首相も珍しくありません。時代は常に流れて変化し、今はハードからソフトへと価値観も変わってまいりましたが、いつの時代でも女性が自分自身を知り、生かせる社会に向けて発信していくことが必要だと思います。実践桜会同窓生の皆様が、家庭に職場に、又それぞれに信じる道を努力し堅実に歩まれていることは誇らしく嬉しい限りです。

すでにご存知かと思いますが、母校実践女子学園は、日野と渋谷の二校地化を進め、この2月に渋谷校舎の竣工を迎えました。4月からは生活科学系は日野で、文系は渋谷での授業が始まります。創立120周年に向けた大業で学園の発展が大いに期待できます。竣工に伴い様々な記念行事も展開され、同窓生の皆様の参加をよびかけられています。またとない機会ですので、久し振りに母校を訪れてはいかがでしょう？

4月12日(土)、13日(日)下田歌子展

5月2日(金)音楽祭

6月7日(土)、8日(日)青山学院、國學院、実践女子大学による源氏物語シンポジウム

10月26日(日)オール実践ホームカミングデー等々魅力的なプログラムが数々用意されています。(詳細は別頁をご参照くださいませ)

実践桜会も学園の節目の行事に参加して一層盛り上げていきたいと考えています。

このように実践女子学園が新しく二校地化のスタートをきり、未来へと前進の駒を進めていますが、実践桜会もかねてよりの懸案でありました代議員制導入を先の12月7日の臨時総会で決定いたしました。こちらも一歩ずつですが歩を進めております。代議員制導入には各系列科会から選ばれた委員による特命委員会を設け実践桜会に相応しい総則を精査し検討してまいりました。その上で5月の定時総会に於いて定款を改定してはじめて代議員制に移行することができます。卒業生が年々増加する中、実践桜会が機能的に活動できるように、又、経費の節減等、将来の運営にプラスになることは間違いないと確信しています。いつも会員の皆様にはご協力をお願いしておりますが、今回の5月の定時総会には定款改定という大きな議事がございます。是非ともご出席いただくかまたは、委任状をお送りくださるか、よろしく願い申し上げます。

平成26年は1月12日、恒例の国立劇場での初春歌舞伎観劇会に、380余名の参加者が、尾上菊五郎、菊之助親子等の競演を楽しみました。明けて1月13日、「祝成人の会」を学園と実践桜会(特にときわ会)が共催し、該当者の約9割にあたる280名が出席しました。昨年は大雪にみまわれましたが、今年はお天気もよく、殆んどの方が振袖姿で、その華やかさとあふれんばかりの若さと…。その盛況の模様をご想像いただきたいと思います。

5月の総会をはじめ、各科会、支部、キャリアネットもそれぞれに活動し、会員の皆様のご参加を期待しています。先輩・後輩は勿論、同期、各科に関係なく同窓というだけですぐに親しくなれるこのような関係を今一度見つめ直して、ご一緒に楽しみませんか？

活発な交流こそが実践桜会の源です。実践桜会の扉は、立てば開く自動扉です。お待ちしております。

(うらがみじゅんこ)

## 2校地化がいよいよスタート

実践女子大学  
実践女子大学短期大学部 学長

田島 眞



平成26年2月10日、前日の大雪が残る渋谷の街に白亜の17階建築がいよいよお披露目のときを迎えました。創立120周年記念館（大学・短期大学棟）の完成竣工式です。テープカット、下田先生レリーフ除幕式、神事、祝賀会、内覧会、記者会見と盛りだくさんの行事が滞りなく進行いたしました。

建物を簡単にご紹介しますと、1階エントランスホール、香雪記念資料館、向田邦子文庫、プラザ、2階事務センター、3階アカデミックステーション、4～8階教室、9階カフェテリア、10階スカイラウンジ、11～16階研究室、17階会議室、その他に地下階、2～3階には図書館が位置しております。

特徴は、修学支援がワンストップで可能なことです。各種相談や教務手続きを2、3階の事務カウンターで一度に対応ができます。アトリウムに面した教室はガラス張り解放感にあふれております。教室とは別に各所にラウンジが設けられて、グループ学習にも使用可能です。

渋谷の新校舎には、大学の文学部、人間社会学部、短期大学部がともに同じ教室で学びます。そこで、学部の垣根を越えた教育を行うことを期待しております。もちろん、全学の共通科目は今でもありますが、学部の専門科目を相互に活用できないかと考えております。

文学部でビジネスを学び、人間社会学部で芸術を学ぶことの実現です。源氏物語から家政学まで森羅万象に精通した下田学祖に至らなくても、少しでも近づければ、社会で豊かに活躍できる人材となるでしょう。そんな教育を予感させる新校舎です。

(たじまこと)

## 同窓の絆を繋いで

実践女子学園  
中学校高等学校 校長

嶋野恵子



1月13日(月・祝)に学園と実践桜会との共催により、「祝成人の会 Jissen Welcomes You Back!」が開催されました。今年の出席者は280名、何と卒業生の9割に当たります。第1部・第2部とも大いに盛り上がり、会場のあちらこちらで久しぶりの再会を楽しんでいたようです。実践桜会理事長浦上様、ときわ会会長古藤様を始め、寒い中、長時間にわたりクローク等でご尽力いただいた大先輩の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。卒業生にとって、多感な時期を共に過ごし、感動を共有した学舎や先生方に懐かしい思いはあることでしょう。しかし、いつまでも当時の姿を維持できるものではありません。卒業後の彼女たちの里帰りは心の故郷として大いに歓迎しますが、大好きな実践女子と卒業してからも確実に繋がる場は同窓会であるということ、「祝成人の会」を広報しながら在校生に伝えております。実践桜会の一員として十分な戦力になる日はそう遠くないと確信しております。それまで、どうぞ、温かくお見守りいただけたらと思います。

さて、120周年記念館も竣工し4月開学に向けて急ピッチで準備が進んでおります。中高生も大学の図書館が利用できること、学びが広がります。また、下田先生に関わる資料も数多く所蔵されておりますので中1の総合でお邪魔したいとも考えております。そして何よりも4年ぶりに校庭での運動会が復活しますことが大変楽しみです。

実践桜会会員の皆様に改めてお願いいたします。中学校高等学校・短大・大学の生徒や学生の姿を、先輩として優しくも厳しい目でご覧いただき、どうぞ忌憚のないご意見、直接のご指導をいただけましたら幸いです。大家族のような一体感を持った渋谷キャンパスになればと考えています。どうぞ、よろしく願います。

(しまのけいこ)

## 輝く人

## 仕事は、知れば知るほど面白い世界。その中を走りつづけています。

東京都病院経営本部  
経営企画部広報担当課長 川久保ルミ子  
(昭和63年 大食卒)



実践女子大学家政学部に4年間お世話になりました。それまで共学校で過ごしてきた私にとっては、どっちを向いても女子、という環境は新鮮でした。学友会の執行委員会に入り活動したことは、懐かしい思い出です。

大学卒業後は住宅機器メーカーに一般職として就職し、営業部門の統括的な部署に配属され、先輩女子社員に敬語の使い方からお茶の出し方まで叩き込まれました。また、役員秘書としてトップの仕事ぶりを間近に見ることで、大いに刺激を受けました。社会人としての基礎を学ばせてもらった6年間でしたが、夫の転勤を機に後ろ髪をひかれながらも退職することにしました。

転勤先の米国では、いわばフリーター主婦。パーティーの席などで様々な国の方と話す機会があったのですが、「(仕事は)何をしていますの?」としばしば聞かれます。ここで、「主婦」と答えることに、とても居心地の悪さを感じていました。多くの女性が何かしら仕事を持っている!しかも彼女らにとっての外国で。むくむくと「私も自分の仕事を持ちたい!」という願望が湧き上がってきました。帰国後、出産を経て再就職に挑戦しましたが、何通履

歴書を送っても、なしのつぶて。プランクの大きさを痛感しました。そこで見つけたのが、選考が公平な公務員、東京都職員の中途採用枠(現在は「キャリア活用採用選考」)でした。一縷の望みをかけて息子が寝ている間に必死に勉強しました。そして運よく採用され、あっという間に16年が過ぎました。

入都後は、福祉、税、医療の分野で仕事をしてきました。多様な分野での職務を通じて、知らなかった世の中を知る面白さと、公務ゆえの責任の重さを痛感する日々です。現在は、広尾病院など8つの都立病院を管理・運営する病院経営本部で広報担当として勤務しています。(都庁には各局に広報担当課長がいます。)具体的には、マスコミ対応やホームページ・広報紙での広報、広聴として日々寄せられるご意見への対応、情報公開制度も担当分野です。そして、都立病院の災害対策事業も担当しています。3年前の東日本大震災当日は、監理団体の病院に勤務していました。その日はほとんどの職員はそのまま残り、帰宅できなくなった患者さんへの対応に追われ、その後も不測の事態に備えて管理職は交代で病院に泊まる日々が続きました。被災地(宮城県気仙沼市や岩手

県陸前高田市)に医療救護班として病院の医師や看護師を派遣したのですが、発災直後は医薬品や自分たちの食料も当然持参で、都庁から大型バスで往復していました。現ポストにはその年の4月から就き、被災地支援から首都直下地震等への備えとしての職員の訓練や研修など災害対策にも力を入れてきました。仕事柄、携帯電話から離れられないこと、緊急時に登庁できるように遠くへ旅行ができないことが、少々辛いところでした。

東京都は仕事をする上で男女の区別は全くありません。そして、ほとんどの職員は60歳の定年まで働き、その後も再任用で働き続ける方も多くいます。女性の管理職もあたりまえのように活躍しています。入都してわかったことは、公務員の世界は決して“9 to 5”ではなかったこと。誤った先入観を抱いていたことに気づきました。最初に配属された職場は年度初めが繁忙期で、その頃は平均して午後9時退庁。男女平等の厳しい一面を思い知りました。2月に都知事に就任した舛添知事は、就任直後の幹部職員への挨拶の中で、ワークライフバランスの実践に触れました。「家庭が充実してこそ、仕事も充実する」と。私自身家庭と仕事のどちらに軸足を置くか、常に悩みながら走り続けてきました。これからは、若い子育て世代の職員を支援していきたいと思っています。

2020年東京オリンピックの年は、まだ現役職員です。一職員としても、東京での開催がとても楽しみです。



東京都大規模テロ災害対処訓練参加者と(東京スカイツリータウン)



都立広尾病院にて災害医療研修会の講師をつとめる

# 実践桜会平成 26 年度年間行事予定表

□日は未定

年月	本部	協力団体(支部)
H26 4月	9日 法律相談 初旬 「那与竹」第 77 号発行 12日 春季委員会(於:実践桜会会館) 12・26日 結婚相談 26日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷) □日 入学記念品贈呈(院・大・短・中) □日 国際交流基金奨学金給付生募集	2日 札幌支部 役員会(総会準備) 5日 茨城支部 役員会 1 回(年間計画等の企画、立案) 上旬 小田原支部 実り会役員会(引き継ぎ他) 上旬 佐賀支部 第 1 回幹事会(支部総会準備・会計監査) 上旬 岡山支部 懇親会(於:岡山国際ホテル) 中旬 千葉支部 柏プラスネット流山なのはな散歩 中旬 埼玉支部 役員会(講習会の反省、会計監査) 中旬 群馬支部 役員会(総会準備会) 中旬 山梨支部 役員会(事業計画検討) 下旬 石川支部 世話人会会合 下旬 福島支部 役員会(当番幹事引き継ぎ) □日 山口支部 幹事会
	5月	7日 札幌支部 役員会(総会案内発送) 上旬 鳥取支部 役員会 中旬 千葉支部 ちばネット第 20 回集い開催 中旬 佐賀支部 第 2 回幹事会(支部総会案内発送) 中旬 福島支部 役員会(総会準備) 中旬 埼玉支部 役員会、彩の国めぐり下見 第 18 回支部総会案内の発送 24日 新潟支部 幹事会 下旬 函館支部 総会の準備会 下旬 大分支部 役員会 □日 英国支部 支部会予定
6月	11日 法律相談 14・28日 結婚相談 17日 国際交流基金選考委員会(書類選考) 21日 キャリアネット総会・講演会 28日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷) 29日 国際交流基金選考委員会(面接選考) 下旬 実践桜会奨学金給付生候補者面接(高)	1日 長野支部 役員会(於:松本市) 1日 千葉支部 第 11 回総会・講演会(於:京成ホテル) 講師 田島眞学長 初旬 関西支部 役員・幹事・地区委員合同委員会 7日 茨城支部 役員会 2 回(総会等の準備(資料作成等)) 8日 札幌支部 総会・親睦会(於:京王プラザホテル札幌) 8日 岩手支部 総会・懇親会 上旬 鳥取支部 鳥取独特の粽作り(三味線巻き)講習会 役員指導の可愛い編み物づくり講習会 初旬~中旬 埼玉支部 役員会、総会の準備、彩の国めぐり下見 中旬 佐賀支部 第 50 回総会(旅館「あけぼの」) 中旬 山形支部 総会・懇親会・研修会(於:鶴岡市) 中旬 群馬支部 総会・講演会・懇親会 21日 茨城支部 総会等(会場、午後の行事等については未定) 28日 埼玉支部 総会・講演会 講演 田島眞学長「知って得る食品の表示」 懇親会(於:さいたま市さいたま共済会館) 29日 沖縄支部 平成 26 年度総会(第 22 回) 於:沖縄セントラルホテル(12:00~16:00) 29日 福島支部 平成 26 年度支部総会(第 20 回) 下旬 佐賀支部 第 3 回幹事会(欠席会員への総会資料発送) 下旬 福井支部 総会・懇親会 下旬 千葉支部 世話人会開催 下旬 山梨支部 ラベンダー収穫・手芸(小物づくり) 季節の料理研修 □日 鹿児島支部 総会・懇親会開催
	7月	上旬 函館支部 支部総会・親睦会(場所未定) 中旬 千葉支部 柏プラスネット手作りの会 中旬 埼玉支部 役員会(総会の反省、総会資料送付) 下旬 札幌支部 役員会(総会資料発送・講演会準備)
8月	9日~17日 実践桜会会館夏期休暇 23日 結婚相談 □日 キャリアネット会員交流会	初旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ」第 31 号発行 ちばネット第 21 回の集いの配布 中旬 石川支部 総会、親睦会予定 中旬 山梨支部 役員会・総会打合せ 下旬 長崎支部 総会(長崎支部総会)についての話し合い □日 山口支部 幹事会 □日 大分支部 総会打ち合せ
	9月	1日 新潟支部 会報発行 初旬 埼玉支部 役員会(見学研修会下見準備) 上旬 鳥取支部 支部会予定 上旬 札幌支部 講演会 中~下旬 山梨支部 総会・研修会・懇親会 下旬 札幌支部 役員会(講演会の反省) 下旬 新潟支部 総会(予定)
10月	8日 学祖祭(於:護国寺・実践桜会会館) 8日 法律相談 初旬 「なよたけ情報版」No 20 発行 11日 第 1 回実践桜会奨学金給付生交流会 秋季委員会(於:実践桜会会館) 11・18日 結婚相談 18・19日 常磐祭(渋谷キャンパス) 18日 キャリアネット「在学生の為の就職相談会」(於:日野) □日 キャリアネット「在学生の為の就職相談会」(於:渋谷) 25・26日 実践桜会バザー開催(於:中高とぎわ祭)	5日 長野支部 総会(於:北東信) 7日 埼玉支部 彩の国めぐり日帰り見学研修会 安中新島裏生家等散策と老神温泉 初旬 千葉支部 ちばネット第 21 回の集い開催 初旬 千葉支部 柏プラスネット白井・印西・北総台地を歩く 中旬 愛媛支部 総会(於:松山市) 中旬 群馬支部 日帰り研修旅行 21日 関西支部 総会・親睦会・講演会(於:あべのハルカス) □日 大分支部 総会(2年に1度開催)・懇親会



島根支部誕生。初会合(2014年2月)

□日は未定

年月	本部	協力団体(支部)
11月	8・9日 常磐祭(日野キャンパス) 8・22日 結婚相談 9日 大・短大常磐協賛、実践桜会賞授与 12日 法律相談 15日 キャリアネット第 1 回セミナー 22日 キャリアネット「卒業生の為の就職・転職相談会」(於:渋谷)	初旬 埼玉支部 役員会(見学研修会の反省、参加者への送付、今後の準備) 初旬 千葉支部 世話人会開催 上旬 長崎支部 総会開催予定 中旬 山梨支部 役員会・新年会打合せ 中旬 千葉支部 社会活動留学生交流会 中旬 鳥取支部 役員会
	12月	初旬 関西支部 役員・幹事・地区委員合同委員会 初旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ」第 32 号発行 初旬 千葉支部 ちばネット第 22 回の集い配布 上旬 佐賀支部 第 4 回幹事会(次年度計画・反省会)
H27 1月	10・24日 結婚相談 11日 初春歌舞伎観劇会開催(於:国立劇場) 14日 法律相談 24日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	下旬 札幌支部 役員会・新年会(予定) 下旬 山梨支部 手芸研修会・新年懇親会 下旬 埼玉支部 新年会・他(第 19 回総会開催日程等打ち合せ) □日 山口支部 幹事会・総会準備(H27年 6月開催予定) □日 大分支部 役員会
	2月	初旬 千葉支部 世話人会開催 初旬 千葉支部 ちばネット第 22 回の集い開催 上旬 群馬支部 役員会・新年会 中旬 埼玉支部 役員会(講習会・支部総会開催の準備) □日 山口支部 幹事会総会準備(H27年 6月開催予定)
3月	7日 第 2 回実践桜会奨学金給付生交流会(於:実践桜会会館) 11日 法律相談 14・28日 結婚相談 28日 キャリアネット「卒業生の為の就職・転職相談会」(於:渋谷) □日 卒業記念品贈呈(院・大・短・高)	中旬 札幌支部 役員会(総会準備予定) 中旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ」第 33 号発行 28日 茨城支部 役員会 3 回 下旬 埼玉支部 実技研修会「和の香りを楽しむ」

## 学園だより

### 「創立 120 周年記念 1 期 整備計画募金」の御礼

平成 23 年 4 月から開始した「創立 120 周年記念 1 期整備計画募金」は平成 26 年度で最終年度を迎えます。これまでの 3 年間で、目標額 4 億円の約 7 割を達成いたしました。卒業生の皆様には、多大なるご支援とご協力を賜り、篤く御礼申し上げます。これまで、実践桜会(本部・支部)から 24 件、8,230,000 円、会員の皆様から 1,953 件、55,630,531 円(平成 26 年 2 月末日現在)のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

実践女子学園理事長 井原 徹

### 「オール実践ホームカミングデー」開催について

平成 26 年度のホームカミングデーは、実践女子大学・実践女子短期大学部「創立 120 周年記念館」(渋谷キャンパス)に於いて、オール実践ホームカミングデー(大学・短大・高校卒業生対象)を下記の日程で開催いたします。ぜひご参加ください。  
・開催日:平成 26 年 10 月 26 日(日) 中高ときわ祭開催中  
・開催場所:「創立 120 周年記念館」  
記念コンサート:1F アトリウム 出演者(卒業生他) 懇親会:9 階カフェテリア  
●お問い合わせ先:実践女子学園総合企画部  
ホームカミングデー担当

TEL:042-585-8804

※詳細は実践女子学園ホームページをご覧ください。

### 平成 26 年度 実践女子大学公開市民講座(案)

- 【国文学科】作家の草稿と書簡(仮題)ー梶井基次郎・谷崎潤一郎・内田百閒ー
  - 【英文学科】女子教育の過去と未来をつなぐ
  - 【生活科学部】新しい日野キャンパスの構築に向けてー現代の生活デザインー
  - 【人間社会学部】メディア × グローバル × ワークスタイルの未来を描き出すーワークショップで考える私たちの未来ー
- ※現時点での予定ですので、変更の可能性があります。決定次第、本学ホームページにて改めてご案内いたします。

### 学園行事予定表

年月	学園	年月	学園
H26 4月	8日(火) 中学校入学式 高等学校入学式	8月	3日(日) オープンキャンパス(渋谷キャンパス) 10日(日) オープンキャンパス(渋谷キャンパス)
	11日(金) 大学入学式(日野) 13日(日) 大学入学式(渋谷) 短期大学部入学式		9月
5月	2日(金) 創立120周年記念整備事業 1期渋谷校地整備計画 音楽祭 6日(火) 創立120周年記念整備事業 1期渋谷校地整備計画 完成記念式典 18日(日) オープンキャンパス(日野キャンパス)	10月	8日(水) 護国寺墓参 11日(土) 人間社会学部開設10周年記念式典 12日(日) オープンキャンパス(渋谷キャンパス) 18日(土)~19日(日) 常磐祭(大学・短期大学部 渋谷) 25日(土)~26日(日) all実践ホームカミングデー 常磐祭(中学校高等学校)
	6月		14日(土)~15日(日) 学祖法要(岩村) 22日(日) オープンキャンパス(渋谷キャンパス)
7月	27日(日) オープンキャンパス(日野キャンパス)	H27 3月	3日(火) 高等学校卒業式 18日(水) 中学校卒業式 20日(金) 大学卒業式(日野) 21日(土) 大学卒業式(渋谷) 短期大学部卒業式

下田歌子に学ぶ(2)

# 多くの困難を乗り越えた 欧米女子教育視察

実践女子大学 文学部 教授

湯浅茂雄

(前 実践女子大学・実践女子短期大学 学長)



下田が寄寓した  
ゴールドン 邸跡  
61Princes Gate

## 欧米女子教育視察

下田歌子は、明治天皇の二人の皇女の教育掛を拝命するにあたり、天皇家から欧米女子教育視察を命ぜられ、明治26年9月から明治28年8月までの2年間(当初は1年間であったが下田の願いにより2年間に延長)渡欧した。この間、明治28年5月に日本人女性として初めてヴィクトリア女王に拝謁を許されたことは特筆に値する。また、この欧米女子教育視察の見聞・経験が学園創立の大きな契機となったことは学園史上極めて重要である。この点については後述(次稿)したいが、筆者は現在(本稿執筆時点)、学園から海外研修の機会を与えられて、ケンブリッジ大学(Faculty of Asian and Middle Eastern Studies)の客員研究員の立場にあり、中心テーマ(海外に渡った日本文献の研究)の傍ら、可能な限り下田歌子の足

跡(イギリス国内)を訪ねているので、その報告も兼ねたいと考える。

下田歌子は明治26年9月10日に横浜を出港しているが、イギリスのブライトンに至るまでの詠草が残されている。今ここに見える地名(原文通り)を拾うと横浜以降、以下の経路であったことが知られる。

神戸=支那領ケルパー島=上海英領=香港(柴棍の公園)=印度コロomboのみなど=スエズ=メジナの海峡=コルシカ島=馬港(マルセイユ港)=巴里府(ムードンなる那翁の離宮なりシオブセルワトワル)=倫敦なる水晶宮=ブライントン(ウエスブライントンの野辺)

詠草から察するに、10月初旬頃にマルセイユ港に到着、11月までパリに滞在し、12月にロンドン入り、ここで新年を迎え、間もなくブライトンに移って英語学校に通い、4月のイースター後、改めてロンドンに拠点を定めたと見られる。



『BRIGHTON&HOVE』から写真を一部転載。下田が訪れた頃のブライトン海岸。水際に下田いう「腕車」様の車が確かに見える。



現在のブライトン海岸

## 最初の滞在先ブライトン

ブライトンは下田歌子がイギリスで初めて長く滞在した街で、英語力を集中的に身につける為の滞在であった。英語を学んだ場所は、下田が帰国後著した『泰西婦女風俗』(明治32刊)中、ブライトンの海水浴の様子を述べる項に「寓居せしはブライトン海浜の某家塾」とあるのみである。筆者もブライトンを訪れ、下田が滞在中に立ち寄った可能性のある場所(ブライトン海岸、棧橋、ロイヤル・パビリオンなど)に立ちみたが、もとよりこの情報のみでは「家塾」の場所は特定できなかった。下田はロンドンに移った後も「招きに応じて」二、三回ブライトンを訪れたと述べている。わずか三ヶ月余りの滞在で、後に招かれるような人間関係を結ぶ下田のコミュニケーション能力にも驚くが、実際にブライトンを訪ねてみて、下田の行き届いた観察眼、記述の正確さに驚かされたことがある。上掲書の海岸の様子に関する次の記述もその一つである。

方、わが二畳敷許の広さにもやと覚ゆる、長高き、粗造なる車の、腕車(湯浅注:人力車の異称)に似たる、三方には、上部に、小窓を付け、全面は、開戸になしたるが、遠浅の所に幾個も立ち続きたれど、距離可なり遥なれば、人の潮に浸りたるは、能くも見えず

この記述については、実際に訪れるまでピンと来なかったところがあったが、現地の博物館や図書館で、当時のブライトン海岸の絵や写真を見つけて、

これかと納得がいった。紙幅の関係で全体を紹介できないが、この一部だけでも正確で行き届いた描写である。理解が届かなかったのは筆者の賢しからであり、素直に読めばいいのである。『泰西婦女風俗』は学園が蔵するが、書名で検索すれば国立国会図書館「近代デジタルライブラリー」のWEB上で気軽に読むことができる。この記事のみならず、全体の一読をお勧めする。

下田歌子の欧米女子教育視察は、大きな使命感を背景に緊張に満ちた2年間であったが、『泰西婦女風俗』を細かく読んで行くと、微笑ましい下田の一面にも出会う。例えば下田は湖水地方の中心地ウィンダーミアの女学校(調べているが、現在のところ特定できていない)も訪れており、その見聞を記している。時期は女学校が夏期休暇に入るころであった。そしてある日、この地でテニスをするようになった経験を述べる中に、次のような記述がある。

彼等が軽々と携へたる、叉手(湯浅注:ラケットのことであろう)は、随分に重くして、腕忽ちに疲るるも口惜し。やうやう一回の終わるを待て、余は余が親愛なる草花でふ友に親しまんとて花摘みにかかりぬ。

テニスは当時の日本では一般化していなかったし、ましてテニスをした日本人女性はほとんどいなかったはずである。テニスが盛んであったイギリス滞りがなせるわざであり、求めに応じたものでもあろうが、下田が果敢にテニスに挑戦した姿は微笑ましい。またこの記事を通してイギリス人女性の特質に言及することも忘れていない。『泰西婦女風俗』には、こ



下田のロンドンでの二つ目の滞在先の建物(19Pelham Place) 19番の玄関は写真左、街灯に重なる所にある。2014年1月14日筆者撮影

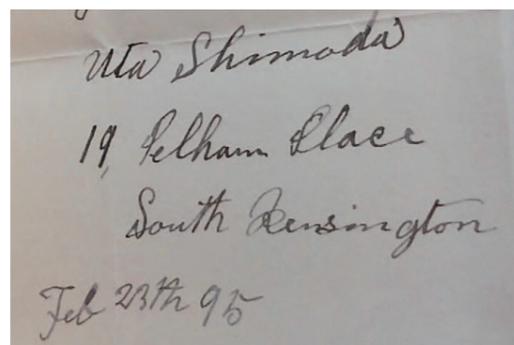
のように、他書からはうかがい知れない下田の姿を垣間みることが出来、今後さらに掘り下げた読解がなされるべきであると考え。

## ロンドンの滞在先とゴルドン婦人

下田は明治27年4月、滞在先をロンドンに移し、以後の女子教育視察の拠点とする。ブライトンから居を移した直後の住所は分からないが、居を定めて間もなく、下田は上流階級の夫人であり親日家であったエリザベス・アンナ・ゴルドン(Elizabeth Anna Gordon 1851-1915)と出会い、並々ならぬ親交を結ぶことになる。やがてゴルドン夫人の申し出により、ゴルドン邸に寄寓することとなる。ゴルドン夫人の下田への助力は絶大なものがあつた。ヴィクトリア女王に拝謁を許されたのもゴルドン夫人の斡旋による。ゴルドン邸滞在先のおかげで、下田はイギリスの家庭や夫人の子供が通う学校の様子を、目の当たりにすることが出来、内側から細かく観察できたのである。ちなみにゴルドン夫人は比較宗教学として、キリスト教と仏教の同源説を唱えた人物でもあり、また、日本に英語の本を送るキャンペーンを主催し、日比谷図書館や早稲田大学、高野山大学に多くの英書を寄贈した。後に日本に來日し、京都で亡くなっている。学園史はイギリスの下田の住所を61PrincesGateと記録するが、ゴルドン邸の住所に他ならない。地下鉄のSouthKensington 駅近く、Victoria and Albert Museum に近接するところで、現

在は大きなビル(マンション)が建っている場所(ビルは59～61番地までを占めている)である。

転居の理由は定かではないが、後に下田はゴルドン邸の近くだが、住居を移している。チェルトナムのレディース・カレッジには、ドロシア・ピール校長に宛てた下田の英文書簡(明治28年5月)が何通か残されているが、そこに発信元として下田のロンドンでの住所が記されている。19Pelham Place, South Kensington である。



下田歌子のロンドンでの二つの活動拠点に実際に立った時、下田の異国での生活に想いを馳せた。女性の独り身、文化の違い、言葉の壁、金銭的な問題等々多くの困難を乗り越えて大きな成果をあげた下田歌子の大きさについてである。

下田歌子が住んだ二つの場所は、この住所情報とロンドンの少し詳しい地図さえあれば容易にたどり着ける。機会があれば訪れていただきたい。

ここで紙幅が尽きた。次稿では下田歌子が訪れたチェルトナム、ケンブリッジ、オックスフォードなどの女子教育機関について述べるつもりである。

## わたくしの心境と近況報告

実践女子大学名誉教授  
高橋雄四郎



正月が終わり、筆でかく年賀状の楽しみも来年までお預けになった。硯は46年前(昭和53年、1978年)のセミナー卒業生がくださったもの。それをいまでも愛用している。迎春、頌春、賀正は毛筆で認める、アドレスをかくとき、この人はその後どのような運命を辿ったのだろう? など想像し、「娘が実践の英文学科に入学しました」という添え書きのある賀状には微笑が浮かんだりする。

わたくしは実践に35年間お世話になった。定年は16年まえ。いらい自宅でひっそり研究生生活の毎日である。だが英詩研究会「デミタス」を立ち上げ、かなりハイレベルのテキストを使用。かつてのセミナーの卒業生と毎月、新宿で再会を繰り返している。10名足らずの小

人数である。毎回2時間程度の英詩の講読・解説、そしてお喋り。このお喋りが楽しい。16年つづいているのはそれ故であり、幹事Mさんの人柄、面倒見の良さによる。彼女もかつて40代後半であったが、いま60代半ばに近づきつつある。

そして英文科会。毎年1月下旬に新年会が催される。雰囲気は実践そのもの。いつも出席するのが待ち遠しい。老いると楽しみは少なくなる。幅広く昔の教え子たちに会い語りあう度に、憂き世の儚さを思い知らされる。親しい顔が少なくなるのである。

わたくしには故郷がある。大分の片田舎、人口128名の村。28歳までそこで経済を学びながら、農業中心の青春を過ごした。PCでいまでも農民と情報交換は欠かさない。こうして現実をみる視点はつねに東京と地方の複眼となる。政治、経済、農業、文学に関心を抱くのは過去の生活体験による。郷里の新聞社が16年ほどエッセーを書かせてくださる理由もそこにあるかも知れない。老いてなお人生が楽しい。為すべきことが沢山ある。時間が足りない。焦りに追い立てられているのが86歳の現実である。

## 実践キャリアネット

実践キャリアネットは「仕事」「働く」をキーワードとした同窓生のネットワークです。世代・学部を超えた仲間との異業種交流、キャリアアップの為のセミナー開催、在校生支援、卒業生就職・転職相談などの活動を行っています。「仕事」について関心のある方はどなたでも入会、大歓迎です。

### 【活動レポート】

#### ●在学学生支援・就職相談会開催

10月19日(土)日野香雪記念館

「ようこそ先輩、ようこそ後輩“働く”を話そう」では、就職活動に不安な学生さんの相談は途切れることがなく、OGの相談員達は業種別に分かれて多くのご相談に対応しました。



#### ●第1回セミナー開催

11月16日(土)実践桜会会館「仕事・子育て…両立がくれた感動」

実践女子学園中学校高等学校の嶋野恵子校長から当学園勤務のきっかけになっ

たお話しや出産、子育て、教頭・校長就任にいたるまでのパワフルなお話を頂き、終了後は講師が用意して頂いた懐かしいアルバムと共に懇親会を開催しました。



#### ●第2回セミナー開催

2月15日(土)東京国立近代美術館工芸館「世界に誇る日本の伝統の美・技・心に学ぶ」

本学卒業生で東京国立近代美術館主任研究員、工芸課教育・資料室長の今井陽子氏に同日開催されている日本伝統工芸展

60回記念展会場で、作品鑑賞と共に作品の見所や作り手の思いなどを解説して頂いた後、今井氏の仕事にまつわるお話を伺いました。



#### ●予定

6月21日(土)午後総会後に講演会を行います。「母として、ルポライターとして“今”を探る」

講師は2013年開高健ノンフィクション賞受賞の黒川祥子氏。どなたでも参加可能です。

## 学祖祭

10月8日(火)、実践桜会会館にて学祖祭が挙行されました。学園理事長、学長、学園関係者と共に実践桜会理事長、常任理事による護国寺での墓参。後、学祖下田歌子先生の祭壇をお奉りした実践桜会会館にて、実香会の方々による献香の儀が行われました。ふくよかな香りの中、厳粛かつ心静かに一同参拝いたしました。

## 平成25年度臨時総会

12月7日(土) 13:00から実践桜会会館にて、平成25年度臨時総会を開催しました。正会員数6,577名、出席者82名、委任状数3,216名、定款17条により総会は成立し、平成25年度補正収支予算、平成26年度事業計画案及び収支予算案が承認されました。第4議案の代議員制についても活発な議論がなされ、総会での議決権を代議員制に改正することに決議されました。(総務部)

## 母校教育助成事業

平成25年度定時総会(5月19日)において、実践桜会より学園助成金を井原学園理事長に贈呈しました。大学・短大「常磐祭」(11月9・10日)において、実行委員会へ協賛金及び桜会賞(研究部門・芸術部門)を贈呈しました。

## 実践桜会国際交流基金事業

留学生4名(中国3名、マレーシア1名)に奨学金を給付しました。本年度も4月に募集を始めます。

## 実践桜会奨学基金事業

大学・短大への奨学金給付は、平成25年度より休止いたしました。学園高校生には継続して給付しております。実践桜会奨学生交流会(国際交流基金給付生と桜会奨学基金給付生)を10月と3月に開催しました。

## 社会活動助成事業

会員以外の参加者も視野に入れた諸活動を行った5科会、9支部、学園関

係1団体、その他1団体、計16団体に社会活動助成金として上限5万円を助成しました。

## 法律相談室

6月より新たに開始した法律相談室は、本年も月一回第2水曜日に行っています。秘密厳守をお約束いたします。(事業部)

## 実践桜会親睦バスツアー

平成25年6月14日(金)山梨南アルプス市のさくらんぼ狩り、信玄餅工場見学、高原リゾートホテルでランチ等お天気にも恵まれ楽しい一日を過ごしました。

## 実践桜会バザー開催

平成25年10月26日(土)27日(日)実践女子学園中高体育館ギャラリアリーナ会場にて、中高との合同バザーを開催致しました。会員の方々、各科会、全国各支部からの特産品、手作り品、雑貨等多数ご寄贈いただきました。皆様のご協力に厚く御礼を申し上げます。



バザー風景

### ●バザー寄贈品ご提供のお願い

平成26年10月25日(土)26日(日)に開催されます実践桜会バザー寄贈品のご提供をお願い致します。4月より実践桜会会館で受付を開始します。  
※衣料品は新品に限らせて頂きます。

## 初春歌舞伎観劇会

平成26年1月12日(日)国立劇場にて辰岡万作=作「三両初春駒曳」五幕を尾上菊五郎、松緑、菊之助、中村時蔵らの顔触れで華やかな舞台を観劇いたしました。母校記念品(オリジナルクリアファイル、味噌汁、お茶等)を販売いたしました。(文化部)



日本文化体験で着物を着た奨学生達を囲んで



桜会賞おめでとう(常磐祭にて)

## 【財務部】会費納入のお願い

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納のかたは、振込用紙にてお近くのコンビニ、ゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。また、下記の銀行口座をつかい、銀行振り込みもご利用ください。

みずほ銀行渋谷中央支店(162)  
口座番号普通1189795  
一般社団法人教育文化振興実践桜会

なお、振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。  
TEL: 03-3407-7459 FAX: 03-3499-0835  
\*何れの場合も会員番号、卒年学科のご記入をお願い致します。

## 実践ときわ会

2014年1月13日の「新・成人の会」から活動が開始されました。今年は好天に恵まれ、280名もの若者たちの喜びの声が会場に溢れ、その熱気にただただ圧倒された数時間でした。この会が「桜会」や「ときわ会」の会員増につながることを願わずにはいられません。本年も、下記のような活動に皆様の更なるご協力、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

■総会：4月20日(日曜日)  
11:00~15:00  
会場：実践桜会会館会費2,500円  
総会後、三遊亭道楽氏による落語会開催  
■新・成人の会への協力  
■観劇会「リア」5月31日(初日)  
出演：渡辺美佐子・植本潤・田中壮太郎  
於：座・高円寺レバトリ  
■初風緑さんと楽しくストレッチ  
9月に予定 会費500円  
(ときわ会会長 古藤黎子)

## 技芸科会

会員の高齢化に伴いまして大きな行事は取止めとなりましたが、手芸方面は講習会を毎月定期的に開催しています。会員も増え、何よりの楽しい交流の場となっています。

どなたでもご参加お待ちしております。  
■手作り品製作(実践桜会バザー用)  
日時：6月26日(木)11:00~15:30  
■会報発行7月31日(木)11:30~15:00  
・「技芸科会だより」46号の発行  
■実践桜会バザー協力(バザー当日)  
手作り品寄贈、販売  
■定期講習会  
ハーダンガー刺繍教室  
第2木曜11:00~15:00  
かえで会(染色) 第2火曜11:00~15:00  
編物の会 第3金曜12:00~15:00  
萌黄会(日本刺繍)  
第1・3木曜12:00~15:00  
●連絡先TEL03-3307-6472  
(科会長 中岡久恵)

## 実践被服科会

実践桜会に代議員制度の導入が検討されている折、協力団体としての科会の責務も大きくなることでしょう。まだ当会をご存知ない被服系卒業生の方々に当会の存在をお知らせし、ご参加をお誘いしたいと思います。今年度も3事業を計画しています。目黒雅叙園百段階段は東京都指定有形文化財です。ご好評だった文楽鑑賞教室(平成22年)は今回本講演を鑑賞致します。ご参加を通じて、会員のたての繋がりを楽しんで

頂けたら嬉しく思います。本年度もよろしくお願い申し上げます。

■第23回総会と懇親会  
日時：平成26年4月19日(土)  
総会11:30~12:45  
懇親会12:30~14:30  
場所：島根イン青山  
母校整備計画委員、生活環境学科主任の高田典夫先生に「新しい渋谷、変わる日野」についてお話いただきます。  
■講習会<ビーズのアクセサリ製作>  
日時：平成26年6月28日(土)13時  
場所：実践桜会会館  
■見学会  
<目黒雅叙園百段階段見学とランチ>  
日時：平成26年9月19日(金)12時  
場所：目黒雅叙園  
■鑑賞会<人形浄瑠璃文楽鑑賞>  
日時：平成26年12月12日(金)14時  
場所：国立小劇場  
■会誌発行  
「歌ごろもニュースNo.18」6月1日(日)  
「歌ごろもNo.23」12月1日(月)  
行事の詳細は逐次、HPに掲載いたします。被服科会会員以外のご参加も歓迎致します。  
●連絡先：TEL&FAX03-3721-9378  
(科会長 松岡久美子)

## 実践家政科会

女性の生き方を問われている現在、自身を磨くべき努力が必要と思われます。男女共同参画社会から遠ざかってしまった今、政見により女性の本来を発揮できる時がきております。女子大卒業の私達は社会から遅れないように努力したいと考えます。次代を担う若い層の学生さん助手さんを応援し、家政科会会員の向上を念頭において活動をしてまいります。

■バス見学会4月9日(水)  
川村記念美術館、国立歴史民族博物館  
9時渋谷商工会議所前集合~17時30分  
■「家政科会たより」発行5月20日(火)  
■家政科会54回総会(学長講話)&クラシック音楽会  
日時：5月25日(日)10:30総会  
学長講話 12:00コンサート  
於：ホテルニューオータニ  
■フランス料理講習会8月24日(日)  
於：ウラクアオヤマ11:00  
■福祉施設作業用エプロン縫製  
9月24日(水)於：実践桜会会館  
■観劇会10月19日(日)  
三越劇場「華々しき一族」若尾文子、西郷輝彦  
■歳末助け合いに寄付海外医療協力会に古切手の寄贈12月15日(月)  
■新年会H27年1月21日(水)  
於：ハイアットリージェンシー東京

正午~  
■講演会：本多京子氏/第2回『和食を考える』  
H27年3月8日(日)於：実践桜会会館  
●連絡先：TEL&FAX045-571-0213  
(科会長 熊切富子)

## 実践国文科会

国文科会の主な活動は会員拡充、世代継承、魅力ある事業展開です。あわせて国文科卒業生間の交流・親睦も大きな目的の一つです。今年度は下記のような行事を企画いたしましたので、どうぞご参加ください。なお、読書会、研究会、同好会等開催のご希望がありましたらご連絡ください。

■総会4月27日(日)13:00~  
於：実践桜会会館  
■記念講演会(総会後)14:30~  
講師：高瀬真理子先生(実践女子大学短期大学部教授)  
「室生犀星の転換期—田端から馬込へ—」  
於：実践桜会会館  
■東京寄り道文学散歩6月中旬  
大森・馬込文士村散策熊谷恒子記念館等  
記念講演をうけての文士村散策です  
■会誌「りんどう」発送7月  
■能・狂言鑑賞会9月13日(土)  
於：国立能楽堂  
内容：能(阿漕) 狂言(文荷)  
■学祖祭献香10月8日(水)  
於：実践桜会会館内祭壇  
■美術館見学会11月  
■新年会平成27年1月25日(日)  
\*詳細は「りんどう」または、ホームページをご覧ください。  
●連絡先：TEL045-543-3963  
(科会長 若松幸子)

## 実践英文科会

今年は、英文科創設90周年となります。その記念祝賀会を秋に予定しております。それを機会に、新しい輪が広がるように努力していきたいと思っております。  
■総会6月8日(日)11:00~12:00  
■講演会(総会後)13:00~15:00  
講師：武内一良先生(短期大学部英語コミュニケーション学科主任教授)  
テーマ「現代英語に隠された真実—社会言語学の論理思考—」

会場：実践桜会会館1Fホール  
■英文科創設90周年記念式典および祝賀会  
日時：9月28日(日)  
会場：大学新渋谷校舎・食堂  
■新年会平成27年1月25日(日)  
■常設勉強会於：実践桜会会館  
輪読会A: 第2・4金曜10:30~12:30  
輪読会B: 第1・3金曜10:30~12:30  
●連絡先：TEL&FAX045-862-3744  
(科会長 山内典子)